



第 87 号  
6月定例会  
令和元年7月20日

こんにちは

# 豊丘村議会 です



議会の凍霜害の  
現地視察・調査

## 6月定例会

新議員の構成	2～7ページ
初議会の様子	8～9ページ
令和元年補正予算主要事業の様子	10～11ページ
議決案件	12～13ページ
一般質問	14～25ページ
委員会報告	26～27ページ





武田 篤子  
たけだ あつこ  
(59才)  
1期目

村づくりは人づくりから  
○村づくりの基本は、人づくりにあると思います。人材育成について、いろいろな面で、行政に提案していきたいと思えます。

○子ども達には、豊丘の魅力、村の良さに気づき発信出来るような機会を作っていきたいです。語学力も必要ですが、それ以上に、文化力が必要であると思えます。

○高齢者の生きがい対策や、共助を生かした豊丘ならではの、「共に支えあう地域づくり」の提案をしていきたいと思えます。

○令和は、「女性が益々活躍する時代になる」と言われています。女性の意見が行政に反映されるように、いろいろな提案をしていきたいと思えます。又、女性目線で行政をとらえて、安心して暮らせる村づくりを目指していきたいと思えます。

その為には、村内の皆さんと対話して、皆さんの声を聴かなくてはなりません、世論になっていない声にも注意をしていきたいです。

議員の主な役割は、行政チェックと監視、そして、村民の意見を把握し、政策提案などで村の運営に反映させていく事だと思っています。

いろいろな所で、村民の方々のお声を聴かせて頂きたいと思っています。  
よろしくお願ひします。



王 生 眞由美  
みぶ まゆみ  
(59才)  
1期目

私が議員として活動する際に一番大切にしたいことは「誰もが思いを語れる村づくり」で、3つの柱を考えています。

★リニア新幹線工事は、地域のくらしの安全安心を第一に、住民の不安を伝え、その解消を求めます。

議員の任期は4年間ですが、その間にリニア建設工事に係る重大な決断は未来の豊丘村民の生命の安全を左右するものです。リニア新幹線建設期成同盟の活動は、車で例えればアクセルです。天災や事故といった自動ブレーキではなく、自ら踏み込むブレーキに足をかけ、慎重で、将来世代の安全を見据えた思いやりのある熟慮と決断を求めていきます。

★段丘を東西に刻み、天竜川に注ぐ谷川に先人達が切り開いた農地の活用を考えます。

伴野原クッキーの由縁にもありますが、先人たちが生産と居住の拠点としていたのは段丘です。都会人にも魅力的な段丘地区の農地の付加価値を高める。

また、災害時に床下・軒下までの浸水区域でもある下段地域では、垂直非難の拠点など災害時の安全を高める方策を考えます。

★豊丘村のここが好き！この村ならではの幸せの素を皆さまと一緒に見つけ育てます。

村民の誰もが胸を張って周囲の人にアピールできるよう、まずは、できることから、皆さんと取り組んでまいります。



滝川 利秋  
たきがわ としあき  
(64才)  
2期目

◎立候補にあたり

『滝川が議員になったら、村政が身近になった』と言われる様な議員を目指して、思い描いた議員像に取り組んできました。具体的には、毎週月曜日の役場夜間窓口業務の開始、『村の補助金一覽表』の全戸配布を実現しました。また、『リニア残土NO1小園の会』の皆さんからの請願では、独自の調査を基に、賛成討論をし、住民運動を擁護しました。

31年度予算では、「だいち」への交付金 2000万円が、村として展望がない事を指摘して、反対討論を行いました。

一方、議会に対し、住民の方からは、「議会は何をしているのかわからない」と言った声が上がっていることも事実です。

◎何に取り組むか

・議員立法で「豊丘村農業振興条例」を、村民の方々と練り上げる。

・山間地の人口減少を村の最重要課題と位置づけ、問題解決の道を探る。

・可能であれば、毎月1回、議会主催の行政相談、気楽に世間話をする会を企画。

・議会の委員等に、住民の方に参加頂いたり、地域に足を運んだりして、現場の声を聞く方法を考える。

・議員として引き続き行政チェックや監視を地道に行っていく予定です。



平澤 恒雄  
ひらさわ つねお  
(65才)  
2期目

皆様には大変お世話になります。議員二期目にあたり、目指すところを申し上げます。

◎健康で活力あふれる「とよおか」

・定期健診や節目健診、がん検診などの受診率の向上で、健康長寿を目指します。

・地域の担い手として、高齢者に活躍していただく、生涯現役の地域を目指します。

・介護保険を利用していない高齢者に、特典付ポイントを付けて応援します。

・道の駅を中心に、農林業・商業・工業の発展を目指します。

◎未来を担う子どもが輝く「とよおか」

・子育て世代の支援を充実し、安心な子育てを目指します。

・文化・芸術や自然、職業などの体験学習で、郷土を愛する心を育てます。

・幼児教育の無償化を目指します。

・住宅と避難所の耐震化を進めます。

・保育園・学校建物と、通園通学路の安全を守ります。

・無料WiFi環境を整備します。

・無料WiFi環境を整備します。



唐澤 克己  
からさわ かつみ  
(75才)  
1期目

1 発想の原点

一人ひとりとって大切なことは、健康・仕事・生きがい。社会にとって大切なことは、安全安心の確保、個人個人の尊重、住民相互の助け合い。議会や行政の役割は、これら個人や社会の存続条件の充足を支援し、社会を持続可能なものにしていくことだと思います。

2 議会での取り組み

◎私の強みは、豊かな実体験を背景にした視野の広さです。欧米を中心にアジア・豪州等数多くの海外視察や研修歴があります。視野の広さを最大限に活かし、常に発想の原点に立つて村のあり方を提言していきたいと思えます。

◎私の取り組み課題の一つに、県の『森林づくり県民税』や国の『森林環境税』を活用した村内の山林原野の整備があります。生きるのに不可欠な空気や水の源泉である山林を手入れし、自然災害を予防するとともに、緑なす木々の炭酸同化作用を活性化させて、村内でも異常気象や災害を引き起こしている温暖化防止の一助にする試みです。これは地球規模の問題解決にも、身近で寄与できることがあるという一例です。広大で無限だと思われた地球も、今や未開地の消滅や災害の頻発等で完全に限界が見えてきました。山林原野の整備には、農業振興という視点のみでなく、かけがえない地球を守りたいという願いが込められているのです。



片桐 忠彦  
かたぎり ただひこ  
(66才)  
2期目

「安心安全に暮らし続けられる地域」を目指して

今住んでいる所に安心して住み続けられるように、次の事項に取り組んでいきたい。

「すべての安心安全は地域コミュニティから」の考えと取り組み。

日常生活では子ども、高齢者への見守り、災害時には自助・近助・共助等、常日頃からの人とのつながりが大切。そこから安心安全が生まれる。地域のコミュニティ活動を広げ、その支援を考えていきたい。

「安心安全な社会基盤の整備」への取り組み。  
防災・減災で安心安全な地域づくりのため、社会基盤整備の推進に取り組む。土砂災害の危険箇所解消や、道路整備等社会基盤整備を進めることにより、安心して暮らし続けられる地域を目指す。

「地域の課題に取り組む地域に合った施策」への取り組み。  
人口減少、高齢化に伴う地域課題は山積している。その対策から対応への取り組み。地域に合った施策を考えていきたい。

「リニア工事の対策と対応」への取り組み。  
リニア本体工事、変電所工事、残土運搬対策、環境対策及びその後の活用等これからの課題に地域と共に活動していきたい。

公明党所属  
まっすぐ誠実、  
一人の声を大切に  
●1954年生まれ  
●取田工業高校卒  
●趣味 自然散策、歴史探訪  
●信条 誠実 勇氣 一所懸命



唐澤 健  
からさわ たけし  
(72才)  
2期目

私の公約

☆医療・福祉の充実  
・一般会計からの繰り入れで国保税・介護保険料を引き下げます。  
・福祉医療費（障がい者医療も含め）窓口完全無料化を。

☆くらしと仕事の応援

・活水器で水道水の安心・安全をすすめます。  
・保育士の採用条件の変更とクラス担任の正規職員化を。  
・各種学校・短大・大学生に入学金・学費の貸与を。  
・防災対策の見直しを。

☆安心して子育てできる環境を

・病児病後児保育を北部町村に。  
・ファミリーサポート事業で子育て環境の充実をします。  
・小中学校の給食費の無償化をすすめます。

☆農業・商工業発展の応援

・住宅リフォームの充実を。  
・道の駅を6次産業化・給食食材の拠点に。  
・地域おこし協力隊で無農薬・減農薬の生産や農産物を活用した商品開発を。

☆リニア工事関係

・トンネル残土の埋め立て地は、下流域への災害のない場所にする。残土の埋め立てを谷埋め盛土にするときは、下流域住民の同意のもと、下流域への災害のない安全な工法と恒久的な安全対策を求めます。



片桐 義憲  
かたぎり よしのり  
(66才)  
4期目

“不信の言を聞く”を常に心得  
是々非々の姿勢で行政への提言と検証に努めます。

○第五次振興計画、後期計画の着実な実現に向けてとどろくみます。

- 一、各区や自治会、地区計画への支援強化、地域コミュニティ推進への支援。
- 一、本格化するリニア工事に伴う、住民生活、環境への不安や負担の軽減。
- 一、若者が定住しやすい雇用、居住、子育て環境の一層の整備、推進。
- 一、誰もが安心して暮らせる福祉施策の充実。
- 一、リニア時代に向け、北部地区、広域行政との一層の連携強化。
- 一、都市交流、着地型観光の推進と移住、定住対策。
- 一、村の資源を最大限活用する、豊丘まるごと6次産業化の推進。
- 一、山間地域の特異性が生かされた人口流出対策の強化、推進。
- 一、許されぬ憲法9条改憲
- 一、平和、安心、安全な郷土づくりに、務めます。



吉川 明博  
よしかわ あきひろ  
(64才)  
3期目

令和元年からの活動方針

●高齢者福祉を身近な所で取り組みます  
「サロンおいでなんしょ小園」の運営を続け、より楽しくします。

サロン（身近に集う場を設け、高齢者の社会的孤独感の解消や自立生活の支援など介護予防の推進をする事業）を毎週日曜日9時30～11時30分まで、年間40回を定期的に開催できる体制を地域の方々と協力して構築し、地域の皆さんの「頼りになる」場所作りを進める。依頼があれば村内どの地域でもサロンの常設を支援します。

●減災、防災対策を立案します

一住民の支え合いは福祉のまちづくりの根幹をなす営みだ、そこで公的サービスにつながるよりも、できる限り住民の手で支えあえるよう手立が必要。  
●リニア中央新幹線に係る諸課題に知恵を絞ります  
①地域への負荷の整理を行い住民の意見を集め、より良い解決策を導き出す。

②リニア新幹線開通後の地域振興計画を柔軟に考える、グループなどを立上げる。

●議会改革を前半の2年で検討し、後半の2年で制度改革します

議会の委員会審議の形を変えることで、議員定数を2から3減らすことができる提案をして、過重になる執務の代償として議員報酬の見直しを検討・提案する。



川野 孝子  
かわの たかこ  
(77才)  
6期目

常に村民の声に耳を傾けこれからの4年間で取り組みたい課題  
(主なもの)

①新万年橋の一日も早い完成に全力で取り組む。(県)の事業として確定後、現在は本設計の段階。しかし巨額な費用が必要なこの事業予算確保について、県への要望活動をしたい。

②安心、安全でおいしい飲料水の確保。(水質改善については特に蒸発残留物の改善について。費用対効果も含め本当に安心でおいしい飲料水に取り組みたい。豊丘村では現在、蒸発残留物対策として活水器を公共施設等へ設置してモニタリング行ない検証をしている。白い付着物の減少、お風呂の湯あたりの柔らかさ等が結果として出てきている。又、6月補正予算で、公共施設、個人宅等への設置して83万6千円を計上、費用対効果も含め取り組みたい。)

③地域の安心を守る日赤奉仕団の組織づくり。(団員確保については消防団も同じ。私たちの生活の安心を守る日赤奉仕団の団員の減少は深刻な状況にある。団員の確保に区との協力体制を考えた。)

④リニア、三遠南信開通後若者が戻ってきたい地域づくり。(戻ってきてもらうにも受け皿の住居、雇用が充実していなければならない。村営マンション。雇用は広域連合で考えたい。)



井原 康明  
いはら やすあき  
(74才)  
3期目

私が今回の村議選に立候補した思いを少しのべます。これから迎えるリニア中央新幹線や三遠南信自動車道の開通を見据えると、確実に豊丘村は大きく変化を迎える事になると思います。あわせて現在の諸課題を含め様々な課題が見えたり、起きたりする事も考えられます。諸課題に議員として取り組むのは当たり前ですが、どう取り組むかも大切な姿勢だと思ひ以下のような取り組みを考えている。

一、取組み方として豊丘村の未来を輝くものにするため、行政や地区、村民や議員の方々と協力して様々な課題にとりくみます。

二、どんな村にしたいかでは、生活環境がより充実し、生涯まで安心して暮らせるサポート体制の充実を図り、豊丘村がいい。豊丘村でよかったと思える村づくりに取り組みます。

三、どんな議会にしたいかでは、地域や団体との意見交換を図り、村民を主体として考え、議会基本条例を基に村民に寄りそった議会にしたい。

四、どんな議員を目指すかについては、常に村民の目線に立ち、信頼のある親しみやすい議員をめざし、何事もスピード感を持って積極的に取り組む事が出来る議員を目指します。



前沢 光昭  
まえざわ みつあき  
(60才)  
6期目

私は四年前村会議員を引退後、長野市に仕事で単身赴任していました。今回無投票ではありますが再び村会議員を務めさせていただくことになりました。

選挙に出るに当たって、皆様にお約束した公約を。今後4年間の公約として掲載させていただきます。

●安心して子育てできる環境のために  
●子どもの医療費完全無料化をすすめ、障がい者医療費の窓口無料化をすすめます。

●病児病後時（児）保育の実現を。  
●小中学校の給食費の無償化をすすめます。

●一般会計からの繰入と子どもの均等割廃止で国保税を協会けんば並みに引き下げます。

●介護予防の充実で健康寿命を延ばします。  
●家族農家の応援で、遊休農地の活用を進めます。

●防災訓練の見直しで、自然災害への備えを計ります。

●リニア  
●膨大なリニア残土埋立地は、下流域への災害が起きる場所に求め、安全な工法と恒久的な安全対策を求めます。

●残土運搬による騒音・振動対策で日常生活に影響が出ないようにJRに求めます。

# 気持ち新たに村議会スタート

～令和元年5月9日、第1回臨時会開かれる～

## 前半は議員の役割分担

前議員10名に元議員1名と新議員3名が加わり、14名の体制で豊丘村議会がスタートした。5月9日の第一回臨時会は、本会議場内での初会合ということで、まず会議前半に議員団の議会内での役割分担を決め、後半では早速本格的な議案の審議に入った。会議中何度も、課せられた責任の重さを痛感するとともに、この4年間精一杯頑張ろうと誓ったものである。

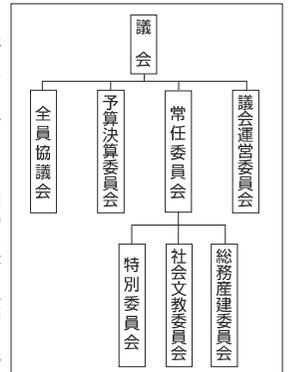
議事では、村長挨拶後、まず議長選挙が行われ、3名立候補した中で下平豊久氏が選出された。次に、副議長選挙では2名が立候補し、松下亨氏が選出された。なお、事前の申し合わせで、正副議長の任期は、再任は妨げないものの、従来と異なり今回からは2年となっている。

正副議長決定後、本会議場における各議員の議席が決められた。村議会では、議場での議席についての内規があり、議長は最後の14番、副議長はその前の13番で、その他の議員は、当選回数が少ない順に、同じ回数であれ



これから4年間、初心を忘れずに

豊丘村議会構成図



からそれぞれ2名ずつ出て構成される議院運営委員会のメンバーも選出された。常任委員会には、総務産建委員会及び社会文教委員会のほかに、議員全員で構成される予算決算委員会がある。

3つの常任委員会及び議会運営委員会のメンバーが確定したところで、それぞれの委員会で正副委員長を互選した。

その後、議員全員がそれぞれメンバーである3つの特別委員会、すなわち広報聴取委員会、リニア特別委員会、道の駅特別委員会の正

副委員長も互選した。さらに、南信州広域連合議会議員の選挙及び下伊那北部総合事務組合議会議員の選挙と議事日程は続くが、これらの議員には正副議長が選出される慣例があり、今回もその慣例に従った。

そして、村長推薦の議員が選出対象になる監査委員には、唐澤健議員が当選し就任した。以上で議員間の任務分担を中心議題とする第一回臨時会前半の部は終了し、今度後半の承認を議題とする後半の部に移った。

## 後半は専決処分議案の審議

議事後半では、いずれも専決処分された5件の議案の審議を行い、すべての議案が承認された。専決処分とは、議会の議決または決定すべきことについて、とりあえず村長が議会で代わって処分し、後で議会の承認を得ることである。今回は村議選があつて議案を事前に召集できなかったため、この処置である。国の法律改正が3月29日に公布され、それに伴う村の条例改正は新年度の4月1日より施行する必要があつたから。

### 承認議案 1

ここでは国の法律変更に伴い、村の条例を一部改正した案件が取り扱われた。

以下は算定基礎が個人所得課税に関係するものである。

①住宅借入金等特別税額控除の見直しに関する、住宅ローン減税措置の対象期間を延

長し、要件を満たすものについては現行制度と同様に個人住民税額から控除する。

②子供の貧困に対応するための非課税措置に関する、要件が確認されれば、個人住民税を非課税とする。

③ふるさと納税制度の国の見直しに対応するため、必要な措置をとる。

以下は車体課税見直しに関するものである。いずれも消費税率10パーセントに対応する軽減措置である。

①軽自動車のグリーン化特例措置の見直しに関し、適用期限を前年度末から2年延長する。

また、2年後からはグリーン化特例対象は乗用電気自動車のみとする。

②今年10月以降来年9月末に至るまでに取得した乗用車につき、所定の基準を満たせば、税率1%を軽減する。

また、確定申告に関する、給与所得等の源泉徴収票は添付する必要

### 承認議案 2

ここでは国民健康保険条例の改正が取り扱われた。

①国民健康保険の課税限度額を見直し、基礎課税額に係る課税限度額を、現行の58万円から61万円に引き上げる。

②低所得者に対する国民健康保険の負担軽減措置を見直し、軽減判定所得の判定において、被保険者等の数に乘すべき金額を次の通りとする。

5割軽減Ⅱ現行27・5万円を28万円に引き上げる。

2割軽減Ⅱ現行50万円を51万円に引き上げる。

なしとの見直しも含まれている。

### 承認議案 3

ここでは前年度の議会時に、金額が確定していなかった一般会計予算を、その後の状況に合わせて補正することが取り扱われた。

①歳入歳出予算の総額は、1億8604万円が追加され、歳入歳出ともに53億8390万円となった。

②繰越明許費の補正では、マッピングシステム整備事業で87万円が追加された。なお、繰越明許費とは会計年度独立の例外として予算で定めて翌年度に繰り越して経費の支出ができるものをいう。

③地方債の補正では、土庫債、消防債、復旧債の限度額で、それぞれ多少の減額があつた。

### 承認議案 4

ここでは国民健康保険特別会計補正予算が取り扱われた。

①既定の歳入歳入予算の総額を、歳入歳出それぞれから8677万円減額し、5億8983万円とする。

②補正の理由は、歳入における県の補助金の8519万円の減額等による。

### 承認議案 5

ここでは介護保険特別会計補正予算が取り扱われた。

①既定の歳出歳入予算の総額を、歳入歳出それぞれから2089万円減額し、8億6237万円とする。

②補正の理由は、歳入における支払基金交付金の760万円の減額等による。

# 令和元年一般会計 45億1,000万円に 2億3,800

開会日に第26号議案として出された一般会計補正予算第1号は、予算決算委員会へ付託された。  
6月11日に開かれた予算決算委員会、理事者側への質疑や議論がされた後可決し、最終日の本会議でも可決された。

また、第27号 令和元年度豊丘村国保特別会計補正予算第1号は 条例改正に伴い、歳入歳出それぞれ1億377万円を追加し、総額を5億9,670万円とした。  
一般会計補正予算の主な内容を示す。

## 総務費



- ・中段地域の巡回バス(7/1より運行)委託料に67万円
- ・佐原地区 公民館横の体育館改修に600万円

## 土木費(住宅政策)

小園天恵製菓南の宅地造成  
測量設計委託に150万円

## 土木費(道路整備)

佐原地区 村単道路改良委託工事請負委託料不足額 945万円

社会資本整備 黒谷線、竜東一環道路整備(次年度分含む)に1億700万円



## 民生費

日赤奉仕団への活動支援に  
85万円

## 農林水産費

- ・豊丘村の「おいしい果物 ギュギュっとビール」開発事業に513万円

## 民生費

休日の子どもの遊び場設置  
中央保育園を一部改修に2200万円、  
保育委託料に200万円



# 万円を追加 総額は昨年度15.5%増の 47億4,800万円

## 土木費(公園整備)

- ・なしっこ公園再整備  
当初予算17万円に 工事整備費として7,500万円を追加
- ・てっぺん公園駐車場整備  
調査協議・測量設計委託費 1,436万円(JR東海が負担)



福島 てっぺん公園

## 衛生費

特定空き家除去費として100万円  
(河野大宮神社付近)を追加

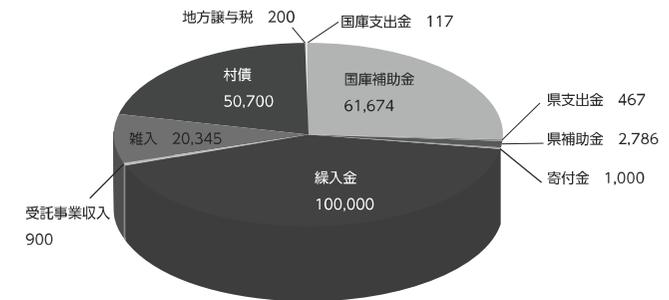
## 教育費

南小学校校舎外付け時計の更新  
工事請負費として 38万円

## 消防費

道路改良に伴う消火栓移設  
整備委託料 165万円を追加

## 補正予算総額(238,189千円) 歳入の内訳(単位千円)



(背景 なしっこ公園)

# 補正予算 一般会計、国保特別会計、水道事業会計

**一般会計  
補正予算**  
○都市交流佐原塾 750千円  
質問 佐原塾の事業内容は。  
回答 都市部からきて、佐原地区の祭や草刈り開墾に参加してもらい、移住定住にもつなげてゆきたい。仲介を社団法人エディケーションコミュニケーションに依頼する。  
○日赤奉仕団活動支援 850千円  
質問 補助金の内容は？  
回答 村内10分団のうち、活動中の7分団に活動費100千円を追加、正副委員長手当を充実し、正副分団長手当を新設する。  
意見 女性の防災組織として位置づけ直し、たぼうががいい。  
意見 女性に限らない。災害時に活動する組織としてみるべき。



活水器

**国保特別会計  
補正予算**  
○てっぺん公園の駐車場設計調査委託 14365千円  
質問 駐車場整備の費用の収支と駐車場台数は？  
回答 村の事業として行い費用は全てJRが出す事とした。村の事務負担もJRが負担する。規模は100台前後の駐車スペースとハリポートを考えている。

た場合の、1人当たりの賦課金はいくらか。対象前年比何%増になるのか。  
回答 1人当たり25296円となり、12%の増額となる。  
**水道事業会計  
補正予算**  
質問 活水器をモニターする公共施設と一般家庭はどこか。  
回答 合計8個予定。公共施設は中央保育園、はつらつ、役場の給湯室、もう5個については一般公募する。

## 議員の意志表示一覧表 <令和元年6月 第2回 定例会> ○…賛成 ▼…反対

件名	審議結果	松下 亨	前沢 光昭	川野 孝子	川桐 義憲	井原 康明	吉川 明博	唐澤 健	片桐 忠彦	平澤 恒雄	滝川 利秋	唐澤 克己	王生 眞由美	武田 篤子
条例 国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
補正予算 令和元年度豊丘村国民健康保険特別会計補正予算第1号	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願 地方自治と民意を尊重し、辺野古新基地建設工事を中断して、話し合いを求める請願について	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議 地方自治と民意を尊重し、辺野古新基地建設工事を中断して、話し合いを求める請願について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

**人事案件**  
固定資産評価審議委員 川中島敏人氏 再任  
任期 令和元年6月12日〜令和4年6月11日  
農業委員会委員 池田 郁雄氏 新任  
任期 令和元年7月1日〜令和3年4月29日

# 令和元年度 第2回 国保税、条例一部改正 定例会 医療支援分ほぼ前年並、介護分は上昇

**国保税条例  
一部改正**  
医療分及び支援分については、ほぼ前年並みであるが、介護分が、35・7%の大幅な上昇が諮問通りの答申内容。質問 県からの請求に基づいて支払う給付金は、高齢者支援分と介護分については集めた税を全額納めている。保険基盤安定繰入金を医療分のみに入れるのは、公平性、正確性を欠くのではないか。  
回答 昔から、保険基盤安定繰入金は医療分のみで充ててきた歴史

**介護保険条例  
一部改正**  
今年10月に予定されている消費税増税による社会保障充実分と料を軽減するもの。質問 負担を下げた分は誰が負担するのか。  
回答 全額公費負担。国2分の1、県4分の1、市町村4分の1割合。質問 今回、対象となる人数は？  
回答 4334人。全体の22%。

**企業版ダークチャ  
推進基金条例**  
「二農」から始まる都市部企業との交流プロジェクト」に基づき、企業からの寄付金により豊丘村の農地の再生、保全、活用などを行う企業版ダークチャ事業を推進するため基金を設置する。内閣府の指導により申請するもので、そのための必須条件として基金条例設定があるために行う。  
質問 ダークチャ事業とあるが、ダークチャとは異なるのでは。  
回答 企業からの寄付金により、豊丘村の農地の保全・再生・活用を行い、企業版ダークチャ

**6月議会請願どうして**  
○請願 最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採決を求める請願  
〔採択〕 請願者 飯田下伊那地区労働組合連合会 議長 伊志一輝 紹介議員 唐澤 健  
○請願 地方自治と民意を尊重し、辺野古新基地建設工事を中断して、話し合いを求める請願  
〔採択〕 請願者 豊丘村 神福 原 富子 紹介議員 唐澤 健  
両請願共に国会、政府、関係機関に「意見書」を送付。





# 宅老所“きずな”今後どうする

## 答 事業所募集 探していく

武田 篤子 議員

質問 昨年ののはつらつ風の風呂の利用者は？  
健康福祉課長 昨年は25478人。この3年、平均で2万6千人の方々に利用してもらっている。

質問 今年度ははつらつ風呂の管理は？  
健康福祉課長 昨年は25478人。この3年、平均で2万6千人の方々に利用してもらっている。

# はつらつ風呂の水質管理 検討を

## 答 身障協と相談する中で検討

質問 介護のしおや運営の宅老所きずなが今年3月で施設の運営を止めると聞いた。大きな施設にはなじめないお年寄りの方がアットホームなこの施設には通所する事が出来ていたと聞いている。小規模地域密着型のこの施設、土地建物共に村の所有である。と聞いている。宅老所きずなの今までの経過と今後、その施設をどのようにして行くのかに

質問 介護のしおや運営の宅老所きずなが今年3月で施設の運営を止めると聞いた。大きな施設にはなじめないお年寄りの方がアットホームなこの施設には通所する事が出来ていたと聞いている。小規模地域密着型のこの施設、土地建物共に村の所有である。と聞いている。宅老所きずなの今までの経過と今後、その施設をどのようにして行くのかに

質問 今年度ははつらつ風呂の管理は？  
健康福祉課長 昨年は25478人。この3年、平均で2万6千人の方々に利用してもらっている。

質問 今年度ははつらつ風呂の管理は？  
健康福祉課長 昨年は25478人。この3年、平均で2万6千人の方々に利用してもらっている。



開所されている宅老所きずな



# 無投票でも選挙公報発刊できないか

## 答 準じた内容で議会だよりが現実的

滝川 利秋 議員



無投票だった村長・村議選はポスターのみ

質問 村長、村議選の立候補届出には、必要書類と一緒に、選挙公報用の原稿と写真を提出している。しかし今回無投票であったため、選挙公報の原稿も写真も目の目を見なかった。多くの村民から「候補者が何を考えているかわからない」「無投票であっても選挙公報ぐらい出すべき」といった声を聞く経過の説明を。

質問 選挙公報の原稿も写真も目の目を見なかった。多くの村民から「候補者が何を考えているかわからない」「無投票であっても選挙公報ぐらい出すべき」といった声を聞く経過の説明を。

質問 今年度の果樹は、4月10日の降雪、4月13日・4月28日・5月7日と何度も凍霜害を受け、6月12日には雹も降り、大きな被害と思われる。被害状況は、産業建設課長 りんご・梨・桃・柿すべての樹種で被害を受け、現時点で被害見込み2060万円と、県へ報告しているが、品価低下も含めれば実態は3〜5倍になるのではと見込んでいる。



三分咲きの花へ降り積もった雪

質問 今年度の果樹は、4月10日の降雪、4月13日・4月28日・5月7日と何度も凍霜害を受け、6月12日には雹も降り、大きな被害と思われる。被害状況は、産業建設課長 りんご・梨・桃・柿すべての樹種で被害を受け、現時点で被害見込み2060万円と、県へ報告しているが、品価低下も含めれば実態は3〜5倍になるのではと見込んでいる。

質問 今年度の果樹は、4月10日の降雪、4月13日・4月28日・5月7日と何度も凍霜害を受け、6月12日には雹も降り、大きな被害と思われる。被害状況は、産業建設課長 りんご・梨・桃・柿すべての樹種で被害を受け、現時点で被害見込み2060万円と、県へ報告しているが、品価低下も含めれば実態は3〜5倍になるのではと見込んでいる。

# ふるさと納税お任せコースの使い道は

## 答 住んでよかったと感じられる施策

質問 住んでよかったと感じられる施策

質問 住んでよかったと感じられる施策

質問 住んでよかったと感じられる施策



### 園外保育の効果と危険性の検証を

答 保育園安全管理マニュアルがある

吉川 明博 議員

質問 2年連続で道の駅の改修工事を随意契約でしているが問題はないか。昨年も駐車場の段差の修正工事として500万円以上の金額で随意契約がある。引き渡し後、2年度にわたって当初建設した会社に随意契約を継続することに問題はないか。一村が発注する公共施設の随意契約工事で公平性が保たれているか心配だ」との村民の声がある。村としての見解を。

最終判断は入札業者は選定委員会で行う

質問 一村長3期目にあたり「建設的で意欲がある」と評価しているが、行政改革に触れるものがなかった。どの様に考えるか。村長 触れなかった訳は以前から豊丘村行政改革大綱が策定され、

毎年向う3年間の推進をしている。行政改革推進懇談会の審議もいた。金を使う施策はドンとやりますけれども、ケチらないういかんところは結構ケチっておるなということを感じている。

総務課長 大きな施設の建設工事が竣工して使用を始めると、設計業者や建設業者に非のない部分で使い勝手等で施設の改修をする事例は多くある。道の駅の改修についても、当初の施工した建設業者は現場・施設の状態を熟知しており適切な改修方法の提案が可能だ。諸経費率も低率で見積もってきている。節減につながるもので、競争入札には適さないと判断。経過に問題はない



と認識している。副村長 最初の判断を担当課で行い、最終判断は入札業者選定委員会で行う。道の駅が年度にわたって随意契約を継続しているという指摘だが「ゆめある」でも過去に複数年に大きな修繕工事を随意契約で行った。指摘の公平性は保たれた。要望 行政と業者との癒着が繰り返し起こってきたという歴史で入札という制度ができあがってきている。私は公平に進められていくと信じている。このテーマは議員として活動していく大きなポイントである。行政は公平性を積極的に公表して行くべきだ。



保育園周囲での注意喚起

質問 安全対策マニュアル等が教育委員会、3保育園共通のものがあるか。子ども課長 高森町の事故以前からあり、毎年保育園の全職員で読み合わせをして、内容の確認をしている。2018年8月に改正をし、今年度も行う。場所を特定しての危険箇所、全員の確認は、絵に落として、ここに保育士が立ちましよう、記録して園が変わっても引き継いでいく。提案・要望 園外保育の目的、リスクとの比較をする時が今ではないかと質問と提案をする。危険される保育士のリスクも軽減されるはず。園外保育については効果とリスクという形で検証を提案・要望する。

### 園外保育による効果はいかに

質問 災害時等にドローンを使う協定を結ぶことはどうか。村長 災害時に大変有効な手段。ドローンを扱う企業等と、応援協定を締結する準備を進める。



### 狩猟用発信機で見回りの軽減を

答 導入補助の方向で固めたい

平澤 恒雄 議員

質問 猟友会総会で発信機の話をしたと思うが、会の意向はどうか。産業建設課長 総会では時間が足らず、結論は出ていない。質問 猟友会が希望する

質問 県は今年度から「骨髄バンクドナー助成事業補助金」を設けている。その内容を聞く。健康福祉課長 白血病など、血液のがんの治療に使う骨髄等を提供するドナーは、7〜10日の入院や通院、面談が必要となる。ドナーに日額2万円、勤務先に同1万円を、それぞれ10日間を限度に市町村が助成すれば、その半額を県が補助するというもの。

助成制度を設ける事を検討する

質問 骨髄ドナーの提供者に支援を



質問 県は今年度から「骨髄バンクドナー助成事業補助金」を設けている。その内容を聞く。健康福祉課長 白血病など、血液のがんの治療に使う骨髄等を提供するドナーは、7〜10日の入院や通院、面談が必要となる。ドナーに日額2万円、勤務先に同1万円を、それぞれ10日間を限度に市町村が助成すれば、その半額を県が補助するというもの。

質問 猟友会が希望すれば補助するか。村長 猟友会には有害獣駆除をお願いしており、ご負担を少しでも軽減したい。役員会を開催いただき、補助する方向で固めたい。

### 幼児教育無償化への対応は

答 3歳〜5歳児の給食費も無償化する



中央保育園の「体験隊」活動。村民体育館北のメダカ池にて

### 災害時にドローン活用を

答 企業等と応援協定の準備を進める

質問 災害時等にドローンを使う協定を結ぶことはどうか。村長 災害時に大変有効な手段。ドローンを扱う企業等と、応援協定を締結する準備を進める。



### 新しくなった避難情報のポイントは

答 警戒レベル4で全員避難

井原 康明 議員

質問 内閣府によると今年の6月より、避難情報が警戒レベル5段階の発令方式となるがどんな内容か。

答 総務課長 避難勧告や避難指示の発令などは危険度の高さや、順番の認知度が高くないことなど多様かつ難解のため、住民の方などに行動を直感的に理解で

### 新避難情報とはどんなものか

質問 3月定例会の一般質問で今後検討して頂けると答弁をいただいた内容について、その後の検討状況を伺う。

答 総務課長 広報とよおは隔月で掲載を検討中

質問 これらの新しい警戒レベル5段階について、住民周知などにはどのような内容であるか。

水害・土砂災害の防災情報の伝え方が変わります

防災情報はいろいろあるけどいつ避難すればいいの？

**警戒レベル4で全員避難!!**

【警戒レベル】で詳細のタイミングをお伝えします。

警戒レベル1	警戒レベル2	警戒レベル3	警戒レベル4
心構えを高める	避難行動の準備	避難に時間を要する人は避難	安全な場所へ避難

次のような内容で自治体から避難行動を呼びかけます！

無投票は誰の責任でも無い



### 温暖化防止のために山林の手入れを

答 県に加え国の施策も始まる

唐澤 克己 議員

質問 地球規模で温暖化が進み、異常気象や災害が頻発している。原因は二酸化炭素の増加だと言われ、世界中でその排出削減に取り組んでいる。もうひとつの解決法は、二酸化炭素を吸収してくれる山林や森林の活性化だが、今や世界各地で森林破壊が進行している。幸い村には集落の背後に広大な山林があるので、これを本格的に手入れすれば、温暖化をくい止める一助になる。

質問 山林を手入れする場合、問題は私有林である。持ち主の大半は自身で手入れし管理することは今や不可能に近い状態だ。そんな折、国では今年度から「森林環境税」と「新たな森林管理システム」の制度を導入した。この制度を説明願いたい。

質問 近い状態だ。そんな折、国では今年度から「森林環境税」と「新たな森林管理システム」の制度を導入した。この制度を説明願いたい。

質問 小学校では新教育課程が来年度より施行され、三年生から外国語（英語）学習が必修となる。実際には既にその移行措置として去年から英語の授業が行われていると思う。そこで、どのような形で英語が指導されているか、先生方の感想はどうか、また、生徒た



元気の良さが印象的ー南小の英語の授業

質問 阿智村でも豚コレラの警戒地域に指定され、当社においても心配する所だが、防疫対策費40万円が足りるのか。

質問 小学校の生徒が現在楽しく英語を学んでいると聞き、大変うれしい。楽しく学ぶことが一番大切だ。生徒と先生の人間関係をしっかりと築いて指導すれば双方にやる気が出て自然に効果も上がる。技術的にはできる限り日本語を介在せず英語は英語のみで指導すれば、生徒のみで達する。先生の英語も上達する。



## 二代表制に関する発言は撤回するか

**答** 昨日の答弁で撤回と謝罪した

松下 亨 議員

**質問** 地方自治体について「二代表制」が規定されているが、その根拠と基本原則はどのように理解しているか。  
**村長** 権力の分立で、議会においては予算や立法、首長には執行権があると考えます。  
**総務課長** 二代表制の根拠は、日本国憲法で執行機関の首長と議事機関の議員を住民が直接選挙で選ぶこととなっている。  
**基本原則は、地方自治法で首長と議会の権限が規定されている。質問** 今回問題になっている村長発言について、昨日の川野議員に

### 議会改革に関する発言も撤回するか

**答** その理解でよい。但し、何ひとつ発言できないとは思わない

に対する答弁で議会に対して謝罪と発言の取り消しがあった。どの部分を撤回するのか。  
**村長** 二代表制に関する議決事項と人事案件について踏み込んだ発言をしたと思っている。  
**質問** 具体的には、議員定数案件と議会の人事案件と理解するが、この2点でよいか確認する。  
**村長** 明確にできることとできないことがある気がする。議会が決めたことを何ひとつ言っていないことはなっていないと思う。  
**質問** 微妙な言い回しだ。二代表制に関する部分は最初に確認した



ので、撤回すると解してよいか。また、常任委員会の在り方についても「縮小」が良いとの踏み込んだ発言をした。  
**質問** 今回の統一地方選挙で村長も無投票で3選し「高慢になった」との声がある。この声にはどう答えるか。  
**村長** 気をつけていきたい。  
**質問** 今回の村長発言を巡る議会との対立で村のイメージは損なわ

### 村長は無投票で「高慢に」の声がある 答 気をつけていく

れた。また、主権者である村民不在で行われたが、村民の皆さんに何らかのメッセージはないか。  
**村長** 村民の皆さんには、議会との対立で迷惑をおかけしたと考えている。

**用語説明**  
**二代表制**  
住民が直接選挙で首長と議員を別々に選ぶ制度。首相を議員から選ぶ「議院内閣制」の国政とは異なる。首長は予算や条例及び人事案などの議案を議会に出す権限を持ち、議会は議案の議決や首長の行政運営を監視する権限を持つ。  
国の三権分立制度から司法を除いた地方版で、互いに尊重し守り守られるべき基本原則。根拠は憲法と地方自治法で、断先行を制限した権力分立制度。



## お互いのリスペクトが必要

**答** おっしゃる通りだ

唐澤 健 議員

**質問** 改選後の臨時議会、土木懇談会の挨拶は今後の4年間の方針を述べる機会ではないのか。  
**村長** 土木懇談会では私も行き過ぎたとは思っている。その場で発言することは品性がないと言われ、そのことに関して二元代表制についてお詫びした。  
**質問** 行政の長は議員定数について公式の場では言及しない。昨年の議会改革において村長は議員定数と報酬は別物であると発言していた。村長には説明責任がある。  
**村長** 議員定数と議員の給料は違うものだ。村民の感情を考えた場合、特別職の報酬審議会が開ける状況にはない。  
**質問** 長老支配があつて、議会でものが言えない議員がいるのであれば、それは議員の資質に欠けると言わざるを得ない。無投票は村

民の意思ではないのか。  
**村長** 議員定数を削減しなかつたことも大きな要因の一つだが、参加しなかつた住民の方にも責任があるだろう。  
**質問** 議会人事に、村長が公式の場で、言及し批判するのはあつてはならないことだ。それぞれの立場をリ

### 子育てサポート事業はできるところから

**答** 豊丘でもできるか検討

**質問** 病児・病後児支援についての政策提言に検討はされたか。  
**子ども課長** 村独自では難しく、子どもの健康の安全が確保できないため実施は難しいと検討した。  
**質問** 松川町の保育サポート事業では、保育所通所の前後においての保育および送迎、軽度の病児または病後の子供の保育。高森町の

**用語説明**  
**リスペクト**  
敬意を払う 配慮

ファミリーサポート事業では、保育園等の送迎および登園前・降園後の一時預かりをしていく。できることから取り組むべきと考えるが。  
**子ども課長** 問題点も多々あると聞いている。慈恵園の子育て支援事業がベストだと考えている。  
**質問** 問題があるから検討しないのはどうなのか。  
**質問** 明神橋から下市田工業団地間の道路改良工事に伴う全面通行止めについて、今年度に始まると聞く。村内の通行量増加が見込まれる。横断歩道、信号機など今から調査研究する必要がある。



松川町子育て支援センター

### 交通量の増加対策を 答 通勤路の要望を参考に

**質問** 明神橋から下市田工業団地間の道路改良工事に伴う全面通行止めについて、今年度に始まると聞く。村内の通行量増加が見込まれる。横断歩道、信号機など今から調査研究する必要がある。  
**建設課長** 通行止めは秋から2年間で実施する。  
**総務課長** 小中学校のPTAからも毎年通勤路の安全対策が要望されている。それらも参考にしながら検討する。



## 水害の際の備えは

答 業者との協定を中心に

前沢 光昭 議員

**質問** 北海道の内陸の厚真町を中心とする地震、西日本豪雨での真備町での水害はこの南信地方と同じ土質の地域であり、同様の災害も考えられる。その点では他人事ではない。避難所の備えの点として猛暑時の冷房、トイレ、段ボール間仕切り、簡易ベッドなどは業者との契約だが優先順位は。

**総務課長** これらの備えは伴野工場団地内の企業で、災害時の調達協定で契約している。他町村でもあるようだが、村内企業であり優先的にしていたくよう契約している。水害では、村内30ヶ所の避難所が一斉に必要ななることはないと思う。

**質問** 床に敷く緩衝材や着替えなどに必要な簡易テントは。

**総務課長** いま言われたものが協定にあるかもう一度確認する。

**質問** 4月28日の凍霜害は地域的ではあるが大きな被害を受けられた方がいる、その後に降霜もあった。国保法では国保税の減免条項

### 凍霜害への支援は



岡谷市の水害の様子

があるが対応は。

**税務課長** 産業建設課と連携しながら、減免条項の規定により、共済等の支払いに合わせ対応していきたい。



凍霜害により若芽がほとんど無くなった柿の木（駒沢）



## 本山残土置き場造成工事の安全性の検証は

答 J R や本山地縁団体役員と詰める

壬生 眞由美 議員

**質問** 各地で説明会が開かれていたが、ダンプの往来台数は最大数で提示され、住民は不安を抱く。住民は不安は工事の全体像がわからないことも原因。工事情報が一目でわかる地図の掲示や工事情報を閲覧できるしくみはないかが。

**総務課長** 中部電力、J R 東海と相談して対応する。

**質問** 村長も議員も4年の任期だが、この間のリニア建設に係る決断は百年先の未来の豊丘村民の安全を左右するもの。将来を見据えた思いやりのある熟慮と判断が大切だ。谷埋め盛土工事の安全性は、第三者による検証が必要と考えるが。

**村長** J R が実施する行政協議で県等により検証される。詳細はJ R や本山地縁団体役員、関係機関と協議して内容を詰める。

### 本山残土置き場造成計画の下流域住民への説明は必要と考える

**質問** 5年前前の平成25年10月30日、村長名でJ R 東海山田社長にあてた環境影響評価準備書に対する意見書の中に、「発生土処分地の選定にあたっては、地権者、地元、下流域住民の合意を得た後に決定することとし、発生土処分に関わるすべて

本山残土置き場計画地

### 残土受け入れの規制は？

**質問** 村道壬生沢線では、私設残土置き場のダンプの往来集中が地域で問題になった。山は不要物の受け入れ場所ではない。

**村長** 3期目のあいさつで、リニア関連工事

### 松くい虫防除空中散布の効果は

**答** 1・2本の差でも無駄ではない

**質問** 松くい虫防除空中散布実施の経過について説明を。

**産業建設課長** 松くい虫監視委員会が協議の上、豊丘村森林整備推進協議会で実施の可否を決定する。

**質問** 散布効果の検証のため実施している枯損木調査結果では、効果の判定は不能と研究者が分析しているが、産業建設課長 調査範囲の設定で結果が変わる。1・2本の差でも全く無駄ではない。協議会において監視員の意見の重みは大きい。

**質問** 空中散布は山地保全やマツタケの生育基盤を守る立場と自然環境への影響を考慮する立場がある。散布区域の見直しや、隔年散布など、散布方法の検討も必要ではないか。

**産業建設課長** 意見をお聞きしながら5年を区切りで計画を考える。

### 住宅リフォーム事業の充実を

**質問** 今年度も実績を上げていますが、利用限度額の引き上げや商品券の使用期限延期は。

**産業建設課長** 自治体が発行する商品券は普通6ヶ月が限度。

**村長** 課長の言う通り議会とも話し合っていることだ。

**再質問** 以前のように利用者への現金の支給も提案して置きます。

# 議会だよりなどにご意見を — 議会モニターの委嘱 —

広報広聴特別委員長 唐澤 健

## 5月20日 第1回委員会

- 一、モニターについて  
議会だより・議会モニターの両方をお願いすることを確認。
- 二、選考方法を検討  
保護者会・PTA・分館役員などこれまでお願いした団体には引き続きお願いします。  
公募・議員が依頼した方については引き続きお願いします。また、新たに公募・議員が依頼した方にもお願いします。  
以上を確認し担当議員は事務局・委員長に一任する。
- 三、選挙公報の公開の村民要望について  
選挙公報は選挙以外には使用できず、使用は選挙違反になる。したがって、定例の議会だよりを増ページし、全議員から原稿を出していただき、様式は広報委員会にお任せすることとする。
- 四、「議会と村づくりを語る会」について  
小規模な単位での開催は決定  
問題があった場合は全村の集会を検討
- 五、その他  
アンケートについて検討することの要請をお聞きした。

## 6月12日 モニター委員辞令交付及び説明会の開催

下平議長・正副委員長・議会事務局長出席  
モニター出席者8名  
会議日程と会議内容を事前に郵送することを確認

# 議会と語る会を開催します — 多くの方が出席を —

## 議会と語る会の開催方法

- 1) 小規模な単位での開催 昨年同様呼び掛ける。
- 2) 全村規模の開催を1か所実施する。

## 委員会での討論

定例会後の反省会・議会改革委員会・広報広聴委員会において、定例会最終日およびこの間の村長あいさつに関して、村民と議会が話し合う機会を早急に持つ必要があるとの結論で公聴委員会に開催について委任された。

討論・検討では、この間の経過を報告し、議会の対応について説明した後、分科会で、疑問や意見をお聞きし、話し合う。

また、新しい議会に対する要望をお聞きする機会にする。  
土日の開催も検討するが、日程的に早期開催は困難である。

## 全村民規模の開催について

日時 8月6日(火)

午後6時30分開場 午後7時00分開始 午後9時00分終了

場所 ゆめあるて 大ホール

## 内容

- (ア) 議員定数についての議会報告
- (イ) 村長発言の抗議文の説明
- (ウ) グループ別語る会 内容は議会への質問・要望・その他
- (エ) 全体会でグループ別報告及び全体で語る会

# 最終決着には、なお慎重な検討が 村長発言と二元代表制

議会改革検討委員長 松下 亨

議員改選後の初議会における下平喜隆村長の発言を巡り、議会と村長は対立していました。その後、一般質問で撤回と謝罪があり終息に向っています。経過と今後については次のとおりです。なお、議会と語る会を8月6日(詳細は別記)に開催して、経過説明とご意見をお聞きます。大勢の皆さん方のご出席をお待ちしています。

## 議員定数を削減しなかったのは間違い — 初議会の村長発言 —

5月9日の初議会  
当選、また、下平豊久で、昨年12議会議員  
議長は、選挙選ならで定数を削減しなかった  
ない、無投票ならでるのは間違い。その結果、  
といて当選。そして無投票となり選挙運動  
議長選挙にでるといっしなかつた人が楽々  
理解できない。

## 二元代表制を尊重していない — 嚴重抗議文を提出 —

この発言を受け議会側は村長発言は二元代表制を大きく踏み越えたもので看過できない。発言の撤回と謝罪を求めた嚴重抗議文を、6月4日に提出。



## 村長を不信任して構わぬ — 定例会の村長発言 —

6月5日、6月議会の開会日における冒頭発言で「村長の不信任決議をして構わない」と発言。議会側は発言を重大視して審議中断し、議会運営委員会と全員協議会で対応を協議。その結果、  
① 本日の発言に対して  
副議長と議会運営委員長が口頭で副村長・総務課長に抗議する。  
② 当日提出された国民健康保険改正案は、本日の結審が求められているため、審査は粛々と行なう。  
③ この問題は一般質問で追及することとする。

## 発言の撤回と謝罪 — 一般質問で答弁 —

6月17・18日の一般質問で、川野孝子議員

## 最終日の発言を問題視 — 最終決着には至れず —

しかし、6月25日の議会最終日の村長あいさつで、再度、二元代表制を踏み越えるがごとき発言がなされました。このため、現時点では最終決着には至れない状況です。  
今後は、識者の意見や勉強会で二元代表制の具体事例の対応策について認識を深めることにしています。

## より信頼される 議会を目指し — 具体活動を 検討中 —

今回の件で具体的な検討が選んでいます。議員個々の改革案は出揃っています。早々に本格検討を着手していきます。

私たちには、定数の現状維持を決めた以上、「14名でよかった」と認められる議会にする責務があります。その実現に向かい全議員が一丸となって取り組んでまいりますので、叱咤激励をお願いします。



# 豊丘村介護保険条例の一部を改正する 条例の制定について

## 社会文教委員会報告

委員長 前沢 光照

**議案の趣旨**  
豊丘村の介護保険料は被保険者の所得により10段階に分かれています。(介護保険法の基準では9段階)平成27年度から消費税増税の際に、社会保障充実分として、所得段階第一段階の保険料を引き下げた経過があります。今回の条例改正は、平成31年3月29日に『介護保険法施行令』及び『介護保険の国庫負担金の算定に関する政令』の一部改正が施行されたことに伴うものです。

今年度の10月に予定されている消費税増税に伴う社会保障への充実分として、低所得者の保険料を軽減するものです。具体的には、所得段階第一段階の保険割合を0.45から0.375へ、第二段階の保



手先を使って介護予防



楽しみながら 介護予防体操

険割合0.625から0.50へ、第三段階の保険割合0.75から0.725へと下げられるものです。実際の年間保険料は、この新しく定めた割合に、基準額である

(所得段階)第5段階の保険料(年額)6万7千8百円を乗じた金額になります。採決は全会一致で可決されました。

所得段階	住民税課税状況	所得等の条件	2018年4月～		2019年4月～	
			基準額に対する割合	保険料(年額)	基準額に対する割合	保険料(年額)
軽減対象	本人が非課税 非課税世帯	・生活保護を受給している人 ・老齢福祉年金を受給している人 ・前年の合計所得金額と、課税年金収入額の合計額が80万円以下の人	0.45	30,510円	0.375	25,425円
			0.625	42,375円	0.50	33,900円
			0.75	50,850円	0.725	49,155円
第四段階	本人が非課税 課税世帯	前年の合計所得金額と、課税年金収入額の合計額が80万円以下の人	0.90	61,020円	0.90	61,020円
第五段階			1.00	67,800円	1.00	67,800円

# 凍霜害の現場、目で足で 4.28の甚大な被害を全議員で

## 総務産建委員会報告

委員長 滝川 利秋



被害農家の気持ちに寄り添う

議案名 国民健康保険 税条例の一部を改正する条例の制定について。概要 国保運営協議会の答申をふまえ、今年度の保険料率を決定するもの。主な内容は、医療分及び、高齢者支援分の保険料については

ほぼ前年並であるが、介護分が35.7%の大幅な上昇が答申内容。Q 県への納付金は、高齢者支援分と介護分については、集めた税を全て納めている。しかし医療分については、税軽減分である保険基

**国保税介護分35.7%値上げ可決  
— 基盤安定繰入金は今後検討 —**  
4月28日を中心とした凍霜害被害が深刻として、全議員による果樹園の現地調査を実施した。(写真左)  
6月議会の重要案件である国保税の審査については、今年も社会文教委員会と合同で審査、介護分は35.7%の値上げを主な内容とする国民健康保険税条例を可決した。

盤安定繰入金2500万円と繰越金500万円を医療分のみに充当している。公平性を欠く。  
A 昔から保険性基盤安定繰入金は、医療分のみに充てられてきた歴史がある。しかし来年度以降は検討したい。  
審査結果 賛成5、反対1  
議案名 豊丘村企業版ダーク事業推進基金条例を可決  
概要 村内若手農業者と、旅行会社(JTB)と、その企画・仲介事業を行うファームフェスという会社より、企業版ふるさと納税を利用した農地の納税・再生活用事業とダーク事業への取り組みの提案があり、取り組みこととした。企業版ふるさと納税の税制適用を受けるため(30%が60%)ダーク事業という内容の地域再生計画を申請するもので、その必須要件として基金

**請願 原さんを参考人として招く**  
議案名 地方自治と民意を尊重し、辺野古新基地建設工事を中断して話し合いを求める請願について  
請願者 神橋 原富子さん。  
概要 辺野古基地建設め立ての是非を問う沖縄県民投票では、投票数の72%が反対であったにも関わらず、民意を無視して工事が強行されている。工事を中断し沖縄県当局との話し合いを求めるもの。  
なお、今回の請願審査では、請願者が村内在住者であり、審査の充実を図るため参考人として出席を求め、意見聴取して審査した。  
審査結果 全会一致で可決  
請願 最低賃金の改善と、中小企業支援拡大を求める意見書の提出  
請願者 飯田下伊那地区労働組合連合会議長 伊壺一輝さん  
審査結果 全会一致で可決

# みんなのページ

豊丘議会だより  
第87号 6月定例会  
令和元年7月20日

発行／長野県豊丘村議会  
編集／広報広聴委員会広報部会  
印刷／龍共印刷(株)

豊丘村議会

検索



私たちの作った野菜です。  
田んぼも近所の皆さんの協力で始めました。

シリーズ  
私がんばっています



今村 泰雄さん (63歳)

美智子さん (61歳)

(北垣外在住)  
平成29年6月転入

- 前のお住まいは  
東京都八王子市です。
- 職業は何を  
建築関係です。
- 移住のきっかけは  
ある本(半農半X関係)を読んで、「自然環境の良い所で、自給的な生活をした」と思うようになりました。
- 移住地の条件は  
長野県は外せないと思っただけ、雪は少ない地域にしようとは話していた。
- 村に来たきっかけは  
農家民泊の情報が良いと聞いたので、ネット検索したら「民泊ついで」が

ヒットした。そこが始まりです。(平成28年)  
○その後は

ワーキングホリデーで再度訪れて、この環境が好きになりました。てっぺん公園の景色は感激でした。「農地付き住宅が買える」ということで決まりました。

○村の最初の感想は

案外生活しやすい地域だった。空気が美味しい。皆さん優しい。

○今後は何を

「半農半X」の実践。野菜の収穫ができました。米作りも始めました。果樹園の作業もしたいので、是非オフアールをお願いします。

○ご家族の意見は

賛成してくれています。実は、環境が良いからと、娘が子どもを産みにきました。

○村への要望は

地域の行事も楽しく、良い事ばかりで何もありませんが、歩道が安全に歩けるようにしてほしい。免許返納が気楽にできるように、お願いします。

## 編集後記

▼4月の議会選挙により議会内組織の変更があり、この議会だよりを作っている広報広聴特別委員会公報部会も左の枠のような部員構成となりました。これまでのように議会だよりモニターさんをはじめ村内読者の皆様のご意見を拝聴し、より良い誌面作りを心がけてまいりますので、ご指導のほどよろしくお願いたします。

▼春先の低温により果実に影響が出ています。この第87号が皆様のお手元に届くころには、その様が顕在化してくるのでは。暑すぎる夏の熱中症も懸念されますが、作物被害が少ないことを祈ります。(吉川明博)

発行責任者	議長 下平 豊久
広報部会	部長 片桐 義憲
	副部長 武田 篤子
部員	王生眞由美
部員	唐澤 克己
部員	吉川 明博
部員	松下 亨

T399-3295 長野県下伊那郡豊丘村大字神箱3120番地  
TEL.0265-35-9063 FAX.0265-35-8355  
Eメールアドレス gikai@vill.nagano-toyooka.lg.jp